

学校だより



令和5年1月31日
横浜市立二谷小学校
校長 矢島 孝幸

「子どもたちのために」

学校長 矢島 孝幸

1月末の厳しい寒波が日本列島を襲った朝のことです。登校中の4年生が「校長先生、霜柱がたっていたよ。」と教えてくれました。体での感覚だけでなく、自然の現象からも寒さを感じ取る感性に、子どもの力を感じました。学校では、給食室に繋がるガス管が凍結してしまったようで、午前中いっぱいお湯を使うことができませんでした。冷たい水で食材の洗浄や調理をしてくださった調理員の皆さんには感謝しかありません。すべて『子どもたちのために』と、子どもを思う気持ちの表れです。

「おはようございます。」正門で元気な声が響いています。昨年
から『あいさつ運動』を行っています。あいさつの意識を高めよう
と各クラスが工夫を凝らして取り組んでいます。日を追うごとに、
あいさつする声が広がってきた気がします。朝のあいさつだけでは
なく、日常生活における当たり前
のあいさつに繋がることを期待
しています。あいさつは、人と人を繋げるコミュニケーションツール
なので、これからも大切にしていきたいと思います。ご家庭でのご協力もお願いいたします。



昨年末の学校評価保護者アンケートへのご協力をありがとうございました。概ねプラスの評価であったので安心しました。その中で「学校は楽しく安心した学校・学級・授業づくりに取り組んでいる」「学校はいじめの未然防止・早期発見・早期対応ができている」「お子さんは進んで運動に取り組んでいる」というアンケート項目で、昨年度よりプラスの評価をいただきました。今年度の目標として、『子どもたちが安心して豊かに生活できる学校』を全教職員で目指していたので、少し実現に近づけたと感じ、とても嬉しかったです。また、コロナ禍で運動等の制限があり、子どもたちの体力低下が著しい中、健康教育を推進するため「体力向上タイム」「すこやかタイム（食育）」に力を入れて取り組んだ成果を評価していただけたこともありがたかったです。今年度の評価結果に安心せず、さらに前進できるよう、取組を進めてまいります。逆に「学習の基礎・基本の定着」「進んであいさつをする」に関しては、改善を必要とする評価結果でした。「スキルタイム」や「家庭学習・自主学習」の充実に向け、現状の課題を明確にし、改善に取り組み、子どもたちが確実に学習内容の基礎・基本を習得できるよう進めていきます。また、日々の授業改善にも学校として取り組んでいきたいと思ひます。

「あいさつ週間・運動」も継続して取り組み、子どもたちの意識啓発を図れるよう引き続き努めてまいります。また、ご意見欄では、改善を要する具体的なご指摘もいただきました。いただいた評価結果とご指摘を真摯に受けとめて、子どもたちが安心して豊かに生活できる学校、保護者・地域の皆様にとって子どもが生き生きと過ごしている学校を全職員が一丸となって取り組んでいきます。

今年度も残り二ヶ月となりました。私たちも『子どもたちのために』研鑽を重ね、常に一步前進する学校となるよう努力してまいります。